

## 当施設における喫煙に関する報告（第二報）

令和7年度福島県保健衛生学会

令和7年8月29日

キョウワグループ・テルサホール(福島テルサ)

### 【はじめに】

令和6年度より第三次健康日本21がスタートし、「喫煙率の減少（喫煙をやめたいものがやめる）」が目標の一つとなっている。当施設では平成2年の設立以来、喫煙習慣を含む生活習慣の聞き取りを行っている。喫煙に関しては、喫煙年数と喫煙本数を調査してきたが、令和4年度よりたばこの種類（紙たばこ、紙以外、両方）を追加し調査をしている。今回、身近な喫煙の実態から課題を見つけ、健康寿命の延伸や、生活習慣病の予防につなげることを目的とした。

### 【方法】

令和6年度に健診で当施設を利用し、喫煙を含むライフスタイル問診に回答した10,950名（男性5,399名、女性5,551名）を対象に、喫煙とライフスタイル問診項目との関連についての調査結果をまとめた。

### 【結果】

1. 当施設の喫煙率は20.7%で、全国喫煙率15.7%(令和5年度国民健康・栄養調査)と比較して5%高い結果となり、特に男性の喫煙率が高かった。また、令和4年度からの経年変化として、若干の変動がみられるものの、全国調査のような減少傾向とはならなかった。
2. たばこの種類は令和4年度と比較して、紙たばこの割合が減少し、紙以外のたばこの割合が増加していた。
3. ライフスタイル問診と喫煙率の関連結果
  - (1) 年代別では、40代の喫煙率が一番高く、次いで50代、30代が高かった。
  - (2) 職業別では、「通信・運輸」、「販売・営業」、「技能工・採掘・製造・建設作業・労務作業」の喫煙率が高かった。
  - (3) 睡眠時間との関連は、短時間睡眠者の喫煙率が高かった。
  - (4) 残業時間は、週10時間未満の者の喫煙率が高かった。
  - (5) ストレスとの関連は、「ほとんど感じない」もしくは、「ほぼ毎日感じる」の者の喫煙率が高かった。
  - (6) 運動との関連は、運動をしていない者の喫煙率が高かった。
  - (7) BMIとの関連は、39歳以下では「肥満」が多く、特定健診の対象である40歳以上では「やせ」の喫煙率が高かった。

### 【考察】

当施設の喫煙率は、全国と比較して高い傾向がみられた。今回、どのようなライフスタイルが喫煙行動とつながっているのか傾向がみえた。今後、受診者へフィードバックをしながら、まずはポピュレーションアプローチを充実させ、パンフレットの配布や、ポスターの掲示、禁煙外来、禁煙支援薬局の紹介などの禁煙支援を行っていく。また、喫煙に関する問診を充実させ、生活習慣病の予防のために寄与していきたい。